消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事例概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリ	
2. 体験した事例の名称	水難救助現場で消防隊員が深みに足を取られた事例	
3. 体験した事例の中心的要素	・要救助者を河川から引き寄せようとした際に、当現場の水深は約4~50cm程度であると認識していた。 ・水底は夜間及び濁りのため視認できない状態であり、急激な深み1m)が確認できなかった。 ・消防隊員は通常の救助出動時の服装(防火着装、活動ヘルメット)ため、深みに入ってしまった時に防火衣着装では身動きが取れなく、れてしまう。	
4. 体験した事例の原因・理由	・現場が浅瀬であることと思い込み、安易に入水してしまった。 ・日頃の訓練では、活動服、長編み上げ又は短靴、救命胴衣で統一しているが、事例当時は、冬期の夜間であったため気温が低く、訓練で実施している服装を怠り、防寒を優先してしまったこと。 ・消防隊長及び他の隊員は水難救助現場での防火衣着装が危険であることが認識不足であったため。	

【体験した事例の直接的原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	

【体験した事例について】

1. 発生日時	平成 年月日 時頃
2. 発生した当時の天候	晴
3. 発生した活動現場	屋外:河川敷
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場)	重傷の怪我をしていた(させていた)だろう。
合、仮に負傷したときの程度)	
6. どのようなことが起きたのか	
(起きそうになったのか)	
7. 事例体験時の活動	救助現場活動中期、 []
8. (7の活動中)	人命検索・救出、
どのような作業中に発生したか	
9. 同様の体験は、これまでにどの	初めて体験した。
程度の頻度で体験していますか。	

10. ヒヤリハット体験当事者の属性(回答者は当事者A)

〇当事者 A	年齢[45]歳、 勤続年数[25]年、 現場経験年数[20] 年、 階級[消防司令補]、
	同様の活動 [1年に数度]、 任務 [隊員]
〇当事者B	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[]、
	同様の活動[]、 任務[]
〇当事者C	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[]、
	同様の活動 []、 任務 []
その他	
(当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過1	A	水難救助現場に防火衣を着装して出動	
経過2	A	要救助者をフロート担架に乗せ	
経過3	A	浅瀬から陸上に引き揚げる際	
経過4	A	水深が浅いと思い込み	
経過5	A	防火衣着装のまま、深みに入ってしまった	
経過6	A	水中で防火衣のため身動きが取れなくなった	
経過7			
経過8			
経過9			
経過 10			

【その事例発生時の状況について】

○事故の場合:事故が起きたのはどうしてだと思うか?

ヒヤリハットの場合:ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか?

たまたま、負傷事故にならなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

	・早く、現場到着や、活動をしなければならないという"あせり"を感じていた。	
Ī	・被害拡大が消防活動を上回っており"あせり"を感じていた。	いいえ
	・周辺の野次馬などにより"あせり"を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

\\\\\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \	
・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった

• 体語	周が悪かった。	いいえ
• 悩a	み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	はい
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	はい

g. 行動しにくい環境だった。

_		
	・狭隘な場所であった。	いいえ
	・暑かった(寒かった)。	はい
	・野次馬が多かった。	いいえ
Ī	・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	はい
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	はい
・指示内容に誤り・偏りがあった。	はい
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

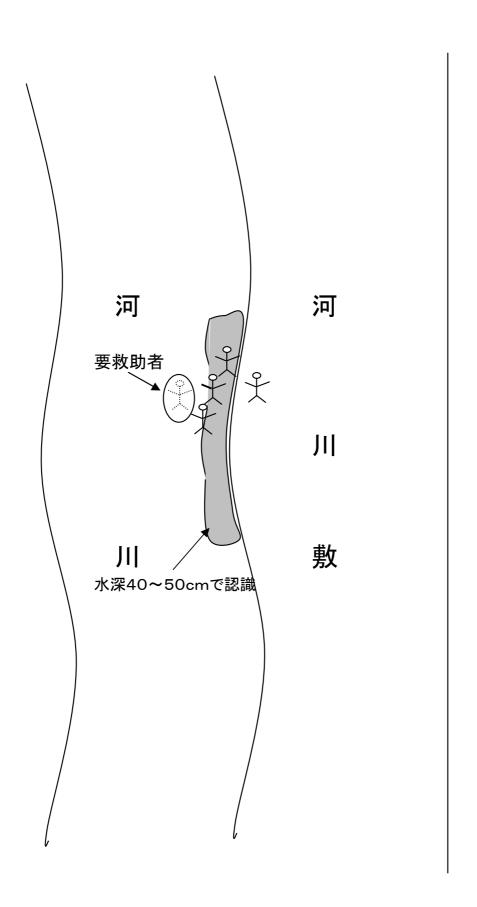
・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

1. その他の理由があった。

はい:危険だという認識がなかった。(寒いから、面倒だから)

ヒヤリハット発生状況



·発生日時 : 平成 年 月 日 時頃

		隊員A	
経過	現場の状況	隊員/消防司令補 ・年齢 45 歳 ・勤続25 年 ・現場 20 年 ・同様の活動:1年に数度	備考
計闡田	水難事故出動指令		水難救助への出動
指令出動途上	外気温が低温であった	水難救助現場に防火衣を着装して出動	事例当時は冬期の夜間であったため気温が低く、訓練で実施している服装を怠り防火衣を着装 防寒を優先していた
上現場到着		現場到着	
到			
相	水底は夜間及び濁りのため視認できない状態	要救助者をフロート担架に乗せる	要救助者を河川から引き寄せようとした際に、当現場の水深は約40~50cm程度であると認識した
活動初期		浅瀬から陸上に引き揚げる際、防火衣着装のま ま、深みに入ってしまった	急激な深み(約1m)が確認できな かった
741		水中で防火衣のため身動きが取れなくなった	消防隊長及び他の隊員は水難救助 現場での防火衣着装が危険である ことが認識不足であった
活動中期			

◎事故が起きたのはどうしてだと思うか?

- ○直接的な原因:
- たまたま、負傷事故にならなかった。

◎事故が起きた背後要因

- (心理・体調について)
- ・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。
- ・活動に対する経験が不足していた。
- (装備・資機材について)
- ・装備・資機材の使用方法が誤っていた。
- (活動環境について)
- ・暑かった(寒かった)。
- ・足元が躓いたり滑りやすかった。
- (指揮・管理について)
- ・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)
- ・指示内容に誤り・偏りがあった。
- (その他)
- ・危険だという認識がなかった。(寒いから、面倒だから)